

**製品名: KIR5.1 (リン酸化 Ser416) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04922**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	48kDa

**抗原情報**

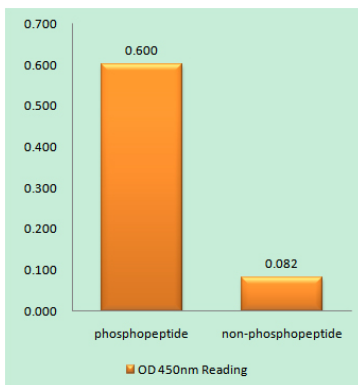
遺伝子名	KCNJ16
別名	KCNJ16; Inward rectifier potassium channel 16; Inward rectifier K(+) channel Kir5.1; Potassium channel; inwardly rectifying subfamily J member 16
遺伝子 ID	
SwissProt ID	
免疫原	抗血清は、マウス Kir5.1 の Ser417 リン酸化部位付近の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 369-418

**背景**

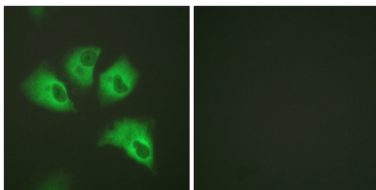
KCNJ16 (カリウム電位依存性チャンネルサブファミリーJメンバー16) は、タンパク質コーディング遺伝子です。KCNJ16に関連する疾患には、ゴマ症候群や身体醜形障害などがあります。関連パスウェイには、化学シナプスを介した伝達や内向き整流性K<sup>+</sup>チャンネルなどがあります。この遺伝子に関連するGOアノテーションには、内向き整流性カリウムチャンネルのアクティビティがあります。この遺伝子の重要なパラログはKCNJ3です。内向き整流性カリウムチャンネルは、カリウムが細胞外に流れ込むよりも細胞内に流れ込む傾向が強いのが特徴です。その電圧依存性は細胞外カリウムの濃度によって制御されます。外部のカリウムが上昇すると、チャンネル開口部の電圧範囲はより正の電圧にシフトします。内向き整流は主に、内部のマグネシウムによる外向き電流の遮断によるものです。KCNJ16は、体液とpHバランスの調整に関与している可能性があります。このプロセスは尿細管でのNa<sup>(+)</sup>再吸収に重要です (PubMed: 24561201)。内向き整流性カリウムチャンネルファミリー(2-TMチャンネルとも呼ばれる)には、強力な内向き整流性チャンネル(Kir2)、Gタンパク質活性化内向き整流性チャンネル(Kir3)、およびスルホニル尿素受容体と結合するATP感受性チャンネル(Kir6)が含まれます。

## 研究分野

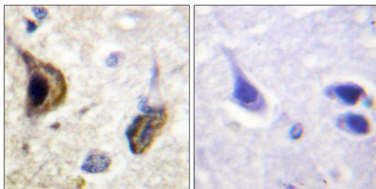
## 画像データ



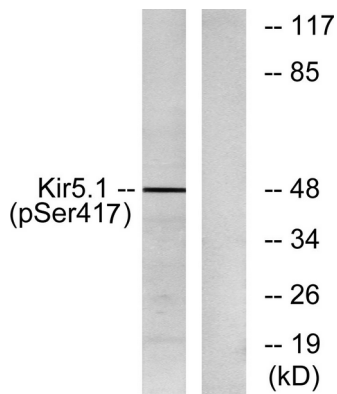
Kir5.1 (リン酸化Ser417) 抗体を用いたリン酸化ペプチド (リン酸化左) および非リン酸化ペプチド (リン酸化右) 免疫原の酵素結合免疫吸着測定 (リン酸化 ELISA)



Kir5.1 (リン酸化Ser417) 抗体を用いた HeLa 細胞の免疫蛍光染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



Kir5.1 (リン酸化Ser417) 抗体を用いたパラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。右の写真はリン酸化ペプチドでブロッキングした状態。



RAW264.7 細胞ライセートをフォルスコリン 40nM 30分処理し、Kir5.1 (リン酸化Ser417) 抗体を用いてウェスタンブロット解析を行った。右レーンはリン酸化ペプチドでブロッキングされている。